

母が子へ

「いのち」を渡す

スプーンのように。



火の国阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

多芸多才の人である。絵を描かせればうまい。

企画を立てさせればユニーク。唄を歌わせると玄人はだしである。

世に「なんでもこいに名人なし」ということわざがあるが、

古川寛貴さんの場合、なんでもこいの名人と言ってまちがいない。

絵でも唄でも共通して「温もり」があり、人をほんのりさせるからだ。

大分県的美術学校で油絵を学んだ。阿蘇に来て、カルデラに堆積した

阿蘇黄土(リモナイト)を扱う企業で数年過ごしたのち、

テレビ局の報道にも携わりながら、デザインの制作活動を展開する。

個人的屋号は mother spoon。

作品に添える落款に使っているこの語は、

母が子へ食べ物という「いのち」を渡すスプーンのように……、

という趣旨から決めた。そんなナイーブな作家はまた、

J-POPから演歌までの楽曲を披露し

喝采を浴びる歌手「阿蘇狩男」なのだ。

「今後もさらに面白いことを探りたい」。

阿蘇という素材をフルに生かして。

mother spoon 古川寛貴

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。